

特定非営利活動法人 国連 UNHCR 協会からの課題

テーマ：難民への共感の輪をひろげる

クライアントからのメッセージ

- UNHCR の活動紹介のために配布するチラシの表 1 および SNS 発信用のビジュアルのデザインです
- UNHCR のことを知らない人に「この団体のことをもう少し知りたい、見てみたい」と思ってもらう「きっかけ」を作るのが目的です
- 自分だったらどんなビジュアルであれば関心を引くかを若い方々の目線でデザインしてください
- 難民問題が持つ堅苦しいイメージを取り払い、同じ地球に住む人間の問題、身近な問題として捉えたデザインや、メインコピーの「すべての難民が 難民でなくなる その日まで」の意味が視覚的に感じられるようなデザインを希望します

制作物規定

制作物	サイズ
チラシ	B5 サイズ、縦（表面のデザインとして使用*）
Instagram 投稿（2 種）	
① Instagram（フィード投稿）	4 : 5 1080×1350 ピクセル
② Instagram（Stories）	9 : 16 1080×1920 ピクセル

* 協会の活動で使用する際は、裏面に紹介資料などを印刷して使用します。

制作物を使うシチュエーション

- チラシ
協会の広報活動、各種イベントで配布、もしくは支援者や関係者に送付
（協会の紹介資料のビジュアルとして使用することも検討。対象は個人ならびに法人・団体）
- Instagram 投稿
協会の公式 Instagram 投稿に使用
投稿先 URL : <https://www.instagram.com/japanforunhcr/>

必須項目

- 団体名称：国連 UNHCR 協会
- ロゴ
- キャッチコピー（協会指定のものを使用。自作は NG）
- ブランドガイドラインを参照してください

ロゴの使用規定

- 使用する場合は、国連 UNHCR 協会の名称とロゴマークがセットになった下記（横・縦）を使用ください。



難民を守る。難民を支える。
国連UNHCR協会



- ロゴの使用は、必ずブランドガイドラインを遵守ください。
- 詳細は別資料「国連 UNHCR 協会ロゴ_ブランドガイドライン」をご確認ください。

写真素材・写真の説明

- 国連 UNHCR 協会から、3 つのテーマ「UNHCR の支援活動」「難民への共感」「1 億 2 千万の難民」に合わせて提供する写真をご使用ください。
- 国連 UNHCR 協会の公式ウェブページの写真や動画を参考にして、独自のイラストを作成してかまいません。
- イラストと写真を組み合わせて使用しても、どちらかみの使用でもかまいません。

<写真の使用上の注意>

- クレジット（©UNHCR/撮影者名）を明記してください。
- 過度なトリミング、文字載せ、色の変更はご遠慮ください。

<写真の説明>

UNHCR の支援活動	
① UNHCR/AlessandroPenso 	イタリアの空港で UNHCR の保護官に迎えられるスーダン人の難民の親子 2024 年 5 月 7 日 クレジット : ©UNHCR/AlessandroPenso
② UNHCR/Ayem Alfadil 	スーダンで発生した大洪水の避難テント内で国内避難民の女性と笑顔を交わす UNHCR スタッフ 2024 年 8 月 5 日 クレジット : ©UNHCR/Ayem Alfadil
③ UNHCR/Reason Moses Runyanga 	南スーダンの一時滞在センターに避難するスーダン難民の子どもと UNHCR スタッフ 2024 年 10 月 31 日 クレジット : ©UNHCR/Reason Moses Runyanga
④ UNHCR/Elisabeth Arnsdorf Haslund 	ウクライナの戦争被災者に冬の支援を提供 2024 年 10 月 17 日 クレジット : ©UNHCR/Elisabeth Arnsdorf Haslund

難民への共感

⑤ UNHCR/Wahid Ahmad Enayat



アフガニスタン北東部で洪水の被害を受けた村の人々や子どもを支援 2024 年 5 月 16 日

クレジット : ©UNHCR/Wahid Ahmad Enayat

⑥ UNHCR/Andrew McConnell



暴力から逃れ、チャドに集まるスーダン難民 2024 年 10 月 28 日

クレジット : ©UNHCR/Andrew McConnell

⑦ UNHCR/Shawkat Al Harfoush



ヨルダンのザータリ難民キャンプで暮らすシリア難民の姉弟 2024 年 12 月 30 日

クレジット : ©UNHCR/Shawkat Al Harfoush

1 億 2 千万の難民

⑧ UNHCR/Ala Kheir



暴力の激化でスーダンからチャドに避難した難民
2025 年 3 月 11 日

クレジット : ©UNHCR/Ala Kheir

⑨ UNHCR/Caitlin Kelly



チャドの難民キャンプを目指して到着する難民の大多数は、女性と子どもたち

2025 年 5 月 3 日

クレジット : ©UNHCR/Caitlin Kelly

⑩ UNHCR/Samuel Otieno



数百人の南スーダン帰還者を乗せ、港を出発する船
2023 年 8 月 27 日

クレジット : ©UNHCR/Samuel Otieno

キャッチコピー

以下コピーをご利用ください。**自作のキャッチコピーは不可とします。**

メイン	すべての難民が 難民でなくなる その日まで
サブ※	紛争や迫害で、ある日突然故郷を追われた人たち。彼らの避難生活は、十数年に及ぶこともあります。 先が見えない不安の中で、日々を懸命に生きています。 ユ・エヌ・エイチ・シー・アール UNHCR（国連難民高等弁務官事務所） は、彼らが安心して暮らせる日まで寄り添い続けます。

※ユ・エヌ・エイチ・シー・アール「UNHCR」は必ずルビを入れてください。

詳細資料

1. テーマ依頼の背景

現在、紛争や迫害により故郷を追われた人の数は、日本の総人口に匹敵する 1 億 2,320 万人になっています（参考①）。世界各地で人道危機が続くなか（参考②）、困難な状況に置かれながらも、未来に向かって力強く歩みを進めている故郷を追われた人々に対する共感や支援の輪を日本社会でも広げるため、難民をテーマとした映画祭をはじめ、さまざまな活動（参考③）を行っています。より難民の存在を身近に感じ、より深く理解し、そしてより多くの支援に繋がるきっかけとなるコミュニケーションツールをこの大会を通じて生み出していきたいと思います。

参考① 2025 年 6 月に UNHCR 本部が発表した年間統計報告書より

[数字で見る難民情勢（2024 年）](#)

[難民について学ぶ](#)

参考② 世界の難民情勢に関する動画

[グローバル・トレンド・レポート 2023](#)

[【6/20 世界難民の日】人々が故郷に帰還できるその日まで](#)

[UNHCR の緊急支援](#)

参考③ 難民映画祭

[詩の朗読フィルム「リスト：彼らが手にしていたもの」](#)

[国連 UNHCR 協会に関連する資料](#)

2. 国連 UNHCR 協会の活動について

国連 UNHCR 協会は、日本における UNHCR の公式支援窓口として 2000 年に設立されました。UNHCR 駐日事務所と連携しながら、UNHCR の活動を支えるために、企業・団体・個人などの民間を対象とした広報・募金活動を行っています。皆さまからのご寄付に対して、寄付金控除（税制上の優遇措置）の領収証を発行することができる認定 NPO 法人です。

<https://www.japanforunhcr.org/>